

「通常学級におけるクラスワイドな支援と

個別のニーズへの支援」

平成 23 年 10 月 30 日（日）13:00—15:00、B 1 0 7 教室において、「通常学級におけるクラスワイドな支援と個別のニーズへの支援」を開催しました。教師、学生、保護者等 127 名の参加者でした。



通常学級における特別支援教育は、当初は特定のお子さんに焦点を当てた個別的支援が中心でした。しかしながら、特別支援教育が進められる中で、多様な教育的ニーズに対応していくためには、学級の全てのお子さんを対象としたクラスワイドな支援を土台として、個のニーズに応じた支援を講じることが重要であるとの認識が広まっています。

そこで、今回は、通常学級における特別支援教育に取り組んでおられる横浜国立大学の関戸英紀先生から、応用行動分析学の立場から、全ての児童が成功する学校環境を作り出すためのアプローチについてご講演をいただきました。

そのポイントは、個々のニーズに対応するためのスクールスタンダードの策定とユニバーサルデザインの授業を土台として構築します。その上に、クラスワイドで、学級の全児童に共通する目標行動を明示し、その取り組みを強化します。

それによって、学級のマネジメントがうまくいくようになり、個に応じた支援の効果も上がるという研究成果を紹介していただきました。

